

在職者向け研修のご案内

能力開発セミナー

<強度設計の要・機械保全マン必須> 機械の疲労寿命設計法

▶セミナーの概要

設備等の破壊は応力集中によって疲労限度を超えることにより発生します。設備等を設計するにあたっては実体の疲労強度を適切に評価し応力集中を避けた設計を行う必要があります。本セミナーでは、この応力集中と疲労限度について講義と演習を行います。また、解析ソフトを使って応力集中を可視化します。これらの演習、実習等を通じ疲労強度の適切な評価法を習得します。設備の信頼性向上を考える設計技術者、保全技術者の方におすすめます。

▶カリキュラム概要

1
00分

(1) 応力集中によって疲労破壊した事例について

- ・疲労破壊の事例
- ・応力集中による破壊の事例

(2) 応力集中

- ・各種の形状条件下における応力集中率
- ・強度向上の評価
- ・解析による応力集中の可視化

2
00分

(3) 実体の疲労限度

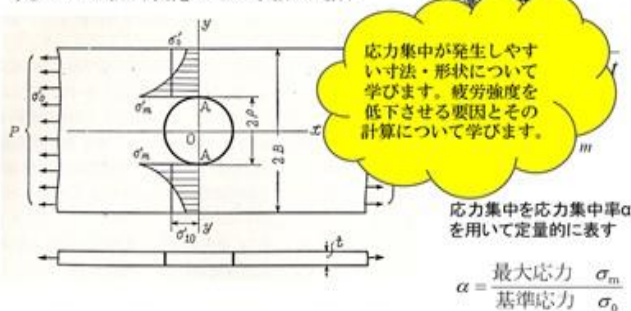
- ・疲労限度を低下させるパラメータ
- ・実体の疲労限度
- ・疲労強度線図

(4) 機械の損傷の原因と対策

- ・軸の損傷と対策
- ・軸受けの損傷と対策

(5) まとめ

厚さt mmの板の両端をPの力で引張った場合



コース番号	TMA06
開催日	令和8年 8/27(木),28(金)
時間	9:00~16:00(合計12H)
受講料	12,000円 (税込)
会場	東北職業能力開発大学校 宮城県栗原市築館字萩沢土橋26
定員	10人 ※先着順
持ち物	筆記用具、関数電卓
使用機材	AutoCAD

申込締切日

コース開始日の2週間前



受講のお申し込みは、受講申込書(裏面)に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールでお送りください



お問い合わせ先

東北職業能力開発大学校 援助計画課

TEL:0228-22-6615

FAX:0228-22-2432

Mail:tohoku-college03@jeed.go.jp